

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第30号—

令和2年11月24日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

今の時代に求められるもの

「天高く馬肥ゆる秋」、校長室の窓からの景色が秋一色になりました。

さて、私事ですが、先日「お掃除ロボット」を購入しました。10年ほど前から使っていた掃除機が動かなくなり、「高い修理代を出すか、お手頃価格となった最新のロボット掃除機を購入するか」を迷った挙句、後者を選びました。ロボットは大きな進化を遂げ、パワーアップに静音に同時水拭き機能まで……。

身の回りの物品を買い替えるとき、その驚きの機能は、ほとんどが私たちの生活をより便利で安全なものにしてくれます。「今の時代に求められる機能」を装備する製品の数々に、脱帽してしまいます。効果的に使えば、豊かな人生に繋がるといっても過言ではないでしょう。

教育、学校現場も大きく変化してきました。昔は10年単位で変化していましたが、5年、3年、と変化の単位は短くなり、追いつくのに苦労する時代です。1年の間でも教育情勢は変わっていきます。特に今年度は、新学習指導要領の改訂に伴い、外国語や道徳の教科化などの大きな変化に加え、コロナ禍において学校生活・学習体制はもちろん、入学式・家庭訪問・運動会・学習発表会・宿泊学習や修学旅行などの行事に大きな変化がありました。以前のような教育活動に戻ることが一番望ましいのですが、コロナ禍での工夫や改善を今後も効果的に取り入れていけたら……。その先に子どもたちにとって、より楽しくて安全な学校、保護者や地域の方にとってより安心で信頼できる学校、そんな学校が見えてくるのではないのでしょうか。次年度からは、児童一人に1台のタブレット端末も支給され、子供たちの学びの大きな変化が予想されます。「今の時代に求められる学校の姿」を、今後も追い求めていきたいと思えます。



今年度からの学習指導要領改訂に合わせて、津吉小学校では、下記の主題を研究テーマに設定し、その趣旨に沿った校内研究を進めています。

「主体的に考え、伝え合い、深めることのできる子どもの育成」

～「伝え合う」楽しさを実感できる授業作りを通して～

各学級担任は、今年度これまで下記のように研究授業を実施し、学校全体で学びを深め、研究テーマの実現に努めてきました。

1年生「3つのかずのけいさん」



2年生「100より大きい数をしらべよう」



3年生「まるい形を調べよう」



4年生「倍の見方」



5年生「面積の求め方を考えよう」



6年生「およその面積と体積を求めよう」



つくし学級「垂直、平行と四角形」



